



◇◆2017.12.2 第1回パープルリボン・コンサート参加企画

野村誠作曲『DV撲滅ソング ～DVカルタを歌にした』 合唱メンバー募集

＝『DV撲滅ソング』を歌って、地域からDVをなくそう！！＝

12/2に《第1回パープルリボン・コンサート》が開催されます。その曲目に、DV根絶を目指す歌、草柳和之〔注1〕作詞・野村誠〔注2〕作曲『DV撲滅ソング』を予定しており、その合唱メンバーを募集しています。歌詞はDVカルタ(下方に説明あり)を並べたもので、ユーモアに溢れ、苦境にある被害者を応援するパワーになります。曲は明るく時に大胆、シニールだがおかしい、この mismatch がディープな音楽体験へと誘います。メロディーは比較的やさしく、初めて人前で歌う方でも大丈夫です。関心のある方は、ぜひご参加下さい。

〔注2〕【作曲者紹介:野村誠】

日本センチュリー交響楽団のコミュニティプログラムディレクター。インドネシア国立芸術大学客員教授、東京芸術大学講師等を歴任。2003年第1回アサヒビール芸術賞他の受賞歴あり。2006-7年、NHK教育TV番組「あいのて」を監修、全21回に出演、老人施設での共同作曲活動が紹介される。共著に『老人ホームに音楽がひびく』(晶文社)他。エディラ大学(英)、マヒドン大学(タイ)、フォルクヴァング大学(独)、等でワークショップを行う。彼の曲は世界20カ国以上で演奏されている。

【指導&piano】

〔注1〕草柳 和之 =KUSAYANAGI Kazuyuki =

大東文化大学非常勤講師。メンタルサービスセンター代表・カウンセラー。長年、DV被害者支援に携わると同時に、日本で初めてDV加害者更生プログラムの実践と研究に着手、実践は新聞・TV・雑誌等を通じて広く紹介される。日本カウンセリング学会東京支部会・運営委員。著書に『ドメスティック・バイオレンス』(岩波書店)、共著『標準 音楽療法入門下』(春秋社)、他多数。

家庭裁判所・国の研究機関・自治体・弁護士会・大学・学会等から、幅広く講演や研修会の依頼を受け、その優れた研修指導は多くの人々から支持されている。

草柳氏が野村誠氏に委嘱したDV根絶を願うピアノ曲を、講演の際に自ら演奏し、国内のみならず、韓国・中国のイベントの際にも演奏活動を展開している。長きにわたるDV問題への先駆的取り組みが評価さ

【パープルリボン・コンサートとは?】

パープルリボンは、女性に対する暴力撤廃運動の国際的シンボルマークです。11/25 国連・女性に対する暴力撤廃デーの時期に合わせ、DV、セクハラ、性犯罪、他、女性に対する暴力をなくし、女性・男性の良好な関係をすることを願おうと、音楽を持ち寄って奏でるコンサートです。出演者の性別・アマも不問、出演者は、服のどこかにパープルリボンを装着して奏します。

〔練習日〕10/21②、10/28②*、11/4①、11/11②、11/18①*、12/2②、全て土曜日、16:00~17:30。(※のみ→10:30~12:00)
※日程途中からの参加も可能です。=①, ②は練習会場の番号=

〔練習会場〕①=子供村 (JR池袋駅13分):豊島区雑司ヶ谷3-12-9

②=聖書キリスト教会(西武池袋線江古田駅8分):練馬区豊玉北1-12-3

〔参加費〕1,000円(曲の楽譜は、練習時にお渡しします。)

〔指導&piano伴奏〕草柳 和之(作詞+委嘱/大東文化大学非常勤講師)

〔備考〕●パープルリボン・コンサート日程:12月2日(土)pm13:30~16:45。会場:聖書キリスト教会3F・小礼拝堂

●曲は全4曲、演奏時間は12~13分です。演奏は、一つの旋律を多人数で歌う、斉唱の形式です。

●パープルリボン・コンサート参加はボランティアです。練習やイベント参加に要する交通費は自前となることを、ご了承下さい。

〔お問合せ〕メンタルサービスセンター:〒176-8799 練馬郵便局留/ ☎03-3993-6147、070-5016-1871

★活動内容、DVカルタ、カウンセリングに関する問合せは、上記まで。 <http://www5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/>

【DVカルタとは・・・】 ■価格税込1300円(送料別)。メンタルサービスセンター(上記)で通信販売。

草柳和之氏により発案され、2013年春に完成したDVをテーマにカルタとして編集したDV問題啓発ツール。いろは全44枚の読み札、絵札、解説書(15p)から構成。被害者にとって“待望の内容”で、読み札と絵札を合わせてみると、とにかくオカシくてたまらなくなります。カルタの言葉は、作者・草柳和之の被害者支援・加害者更生プログラムの実践を通じて、痛切に感じてきた被害者の実感が込められています。

■読み札の例 ㊦「意地悪もここまでやれたら 才能です」、㊧「ヨン様の爪の垢でも 飲ませたい」、他。